

## 進路講演会

京都造形芸術大学の石山潤先生をお迎えして、2年生対象全体講演会を行いました。石山先生は、国内のみならず、台湾・韓国で精力的に講演活動を行っておられます。

AIの発達を受け、「我々は誰も体験したことのない問題を、今までになかった方法で解決していく時代」を迎えていると説きます。私たちに残る仕事は、「対話+創造（クリエイション）」によるものです。またアイデアを出すのに必要なのは、センスや才能ではありません。ものを観察し情報を集める力です。具体例となる映像を紹介しながらテンポよく話が進みます。モノを観察するのが苦手な我々は、「見る→考える→話す→聴く→見る」の循環を意識することが、コミュニケーションのコツとなります。

時代の変化におののくことはありません。考えを言葉にして出すということから、何らかの化学変化が起こるのです。

みんなはアウストラルピテクスが持ち歩く石を、何と見たでしょうか。

